



NO.16 2025.9.24

思考力と考える力と
自然との関わり編

5歳児～思考力と考える力～

年長児は去年に引き続き今年で2回目の科学あそび！豊能町の中学校で理科教師を長年され、今は夢ラボでも活躍されている末広先生『末T（すえていーと呼んでいます）』にブーメランの作り方、あそび方を教えてもらいました。牛乳パックの型紙をハサミで切り3枚のパーツを作りました。その後は、末Tの説明通りに組み合わせていきました。まずは2枚を組み合わせて3枚目も組み合わせると三角に…。と数や図形の話も出てきました。組み合わせは少し難しかったようですが、大人の手伝いのもと無事に組み合わせることができました。なんとなく形になって早く飛ばしたい様子でしたが、次に投げ方の説明！手首のスナップをきかせる事や、野球のボールの変化球の玉の軌道を実際にスローで実演してもらいながらなんとなくわかったような子どもたち。ブーメランの3枚の羽をなんとなく指でカーブさせ実際にチャレンジしてみると、どうやって投げたらうまく飛ぶのか何度も考えながら投げていましたよ。「あっもどってきた！」「うまくできへん」と言いながらもその日の隙間時間に何度も投げてあそぶ子どもたちでした。

室内あそびの際にペンで模様を描き、素敵なブーメランができあがりましたよ。



パーツの組み合わせ難しい…。
でもやってみよう！
うまくできるかな？



「こうやって投げたら
自分の所に戻ってくる
よ」とやって見せてく
れるすえていー。



やってみると難しいけど
楽しい！

4歳児～自然との関わり～

末広先生の科学あそびに参加しました。身近な生き物だんごむしを使ってあそびました。だんごむしには足が7本ずつ生えている事や、虫と言われているけれど、実はエビやカニの仲間であらうという事を教えて貰いました。また、丸くなるのは身を守るためだけではなく、疲れた時も同じ行動をすることを学びました。それ以外にも食べ物や、どの場所によくいるかなども学びました。

だんごむしの事をいろいろ知った後は、だんごむしの動きを観察。迷路を用意し、どのように進むのかを調べました。どのだんごむしも右左右左や左右左右とジグザグに進むことが分かりました。右左右と同じ方向に進み続けると同じ場所に戻ってしまいうので、遠くに行こうと考えてジグザグに歩いていることも知り、発見でした。

身近にいるだんごむしの事を詳しく知り、今まで以上に興味が湧いたように思います。終わったあとは「面白かった。」「だんごむしも考えてるんだね。」「また、してみたい。」などの声がありました。

虫にもいろいろな種類があり、考えて動いている事や、『小さくても生きている』という命の大切さも知れたように思います。

